



No.142

発行日:2024年11月14日

神奈川ネット 市政報告



市議 布瀬めぐみ



市議 吉田なな

たいせつな緑を 守っていくために

市内には、大規模緑地の森が8つあります。* 大和市は、「緑の基本計画」で大規模緑地の緑を保全し、生態系の維持・保全を図っていくと明記しています。

「つるま自然の森」は、中央林間に自然の森と相模原市の緑地を含めた一帯の総称で、野鳥や昆虫をはじめとする生態系の維持・保全のためにも貴重な森です。月に2回のボランティアによる手入れにより森の自然が保たれています。子どもの色々な体験の場として利用されたり、市民の憩いの場にもなっています。

「泉の森」は大和市最大の緑地であり、生物の保全・育成活動、環境学習、憩いやレクリエーション、健康づくり等の多様な活動の受け皿になっています。都市生活の中での自然とのふれあいを通して市民が交流できる森として親しまれています。

*8つの森とは中央林間自然の森、深見歴史の森、泉の森、ふれあいの森、谷戸頭・谷戸緑地、上和田境川緑地、上和田野鳥の森、下和田境川緑地です。

保全より整備活用?

国民健康保険 紙の保険証がなくなる!

国民健康保険の新規の紙の保険証は、12月2日以降配布されなくなります。

今後はマイナ保険証を持っていない方には「資格確認書」が送られてくる予定ですが、暫定的なものでいつまで自動的に送られるかわかりません。国はマイナンバーカードを作ることも、保険証を紐づけることも任意だとしていますが、マイナ保険証へ一本化しようとする強行な姿勢は選択の自由を奪っています。

全国保険医団体連合会の調査によると、マイナ保険証の約7割でトラブルが起こっています。

マイナ保険証を持つ人も持たない人も困らない体制を作っていくために市が現状の状況を把握して、市民の声を国にあげていくべきです。



は「内山地区の市街化、上瀬谷通信施設跡地での国際園芸博覧会の開催などを踏まえた新たなまちづくりの動向を考慮しながら調和のとれた緑の保全や整備を進めているよう活用を図るという方向性を素案として示した」と答弁しました。

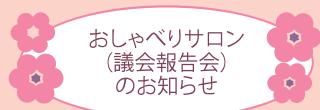
新総合計画は今後改定される「緑の基本計画」や「都市計画」などの基本となるものです。市の最上位計画であるこの計画の文言はとても重要です。「緑の保全」という言葉を入れるよう要望しました。



つるま自然の森(写真提供 小杉皓男)

積緑を守るため 積極的用地取得を

た。また、計画の重要な文言を変えるのであれば市民やそこで活動するボランティアの方々が納得する説明をするべきです。



おしゃべりサロン
(議会報告会)
のお知らせ

12月23日(月) シリウス605 (吉田)
12月26日(木) 桜ヶ丘学習センター202(布瀬)
12月27日(金) 大和市民会議事務所 上草柳8-15-5(布瀬)
1月 8日(水) ポラリス room2 (吉田)
1月 9日(木) つきみ野学習センター201
14:00~16:00(吉田)

議会や市政の報告をし皆さんからお話を伺う場です。
お気軽にお参加ください。(直接会場にお越し下さい)

1月9日以外の時間はすべて10:00~12:00 出入り自由です。

吉田なな
一般質問はホームページでもご覧になれます。こちらのQRコードからお入りください。



*9月議会では、他に「街灯」について質問しました。

